

4. 田中・平田周辺 (D)

この調査地区は、南西側から北東側に山麓堆積地形と山地が広がる。調査は南西側から北東側に向けて実施した。この地区はほぼ建設年代の古い家屋や納屋が立ち並んでおり、道路を挟んで南東側は勾配が急峻で、北西側は比較的緩やかな傾斜がある。その先には氾濫平野が広がる。図中、南西地域も南東地域もほぼ同様に、建設年代の古い家屋や納屋は激しく倒壊、あるいは傾斜している。また隣接する比較的新しい建物は、ほとんど無損傷のように思われる。屋根瓦のトップヘビー構造や強度不足が要因と推察される。本調査地区の東部では、道路一部から田んぼ、また再度道路を横切るように地表面断層が現れており、特に田んぼから道路を横切る断層によって、道路側面の一部が大きく損傷を受けていた。

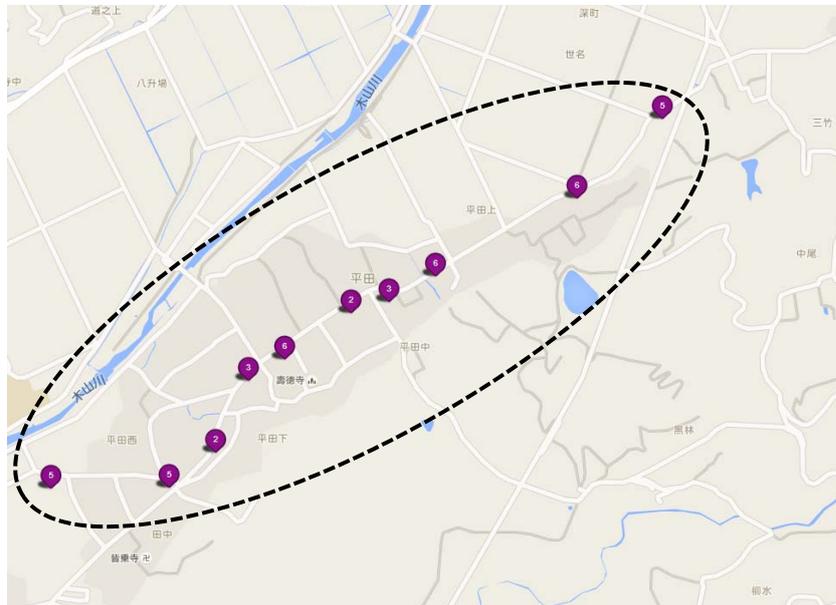


図 地震被害の調査対象地域と写真撮影地点（数値は各地点の写真撮影数）

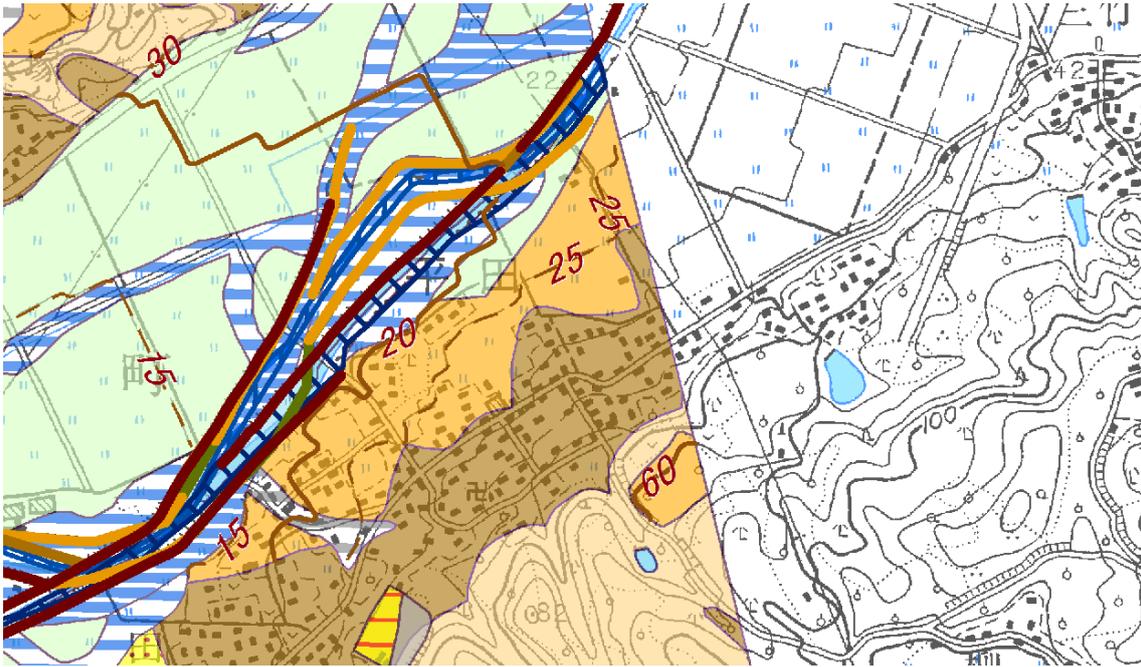


図 調査D地区の治水地形分類図（平成22年3月作成 国土地理院）

・D地区（南西側から北東側へ）









